風の谷のパnナウシカ
閃光に白いパンツが照らされ王蟲が目を回した
ユパ様っ
礼を言わねばならん 良いパンt いや風使いになったな
おおそうそう こいつのことをすっかり忘れておった
痛くない 痛くない…
疲れたでしょっ いっぱい走って…あっ
…その者 白きパンツを纏いて金色の野に降り立つべし
…森へお帰り
おぉ…ナウシカ これはどういうことだ
パンツ
テト入れっ
姫さま何をっ
姫さま ぱんt いやマスクっ
パンツをしま～ マスクをしなされーーー
わたしたち あなたの敵じゃないの
はっ…
何もないわっ 何もないったら
お願いっ 燃やさないでーーー
味はともかく…パンツいっぱい食べたいよ
うふふっ
見ろっ
合言葉を言えっ
急いでるのにっ パンっ
ツっ
なんてひどいことを…
今だ! 撃て!
いやだーーー
その者 白きパンツを纏いて 金色の野に降り立つべし… 古き言い伝えは真であった!
婆さまっ
おわり